

新型コロナウイルス感染症に関する市長メッセージ

(令和2年3月27日)

市長の加藤です。

新型コロナウイルス感染症について、小田原保健福祉事務所管内において新たに陽性者が生じ、また、神奈川県を含む1都4県においては、感染爆発の重大局面であるとの認識のもと、対応が呼びかけられるなど、予断を許さない状況です。

本市は3月11日に、それまでの対策会議をレベルアップして、私を本部長とする新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、情報共有をしながら対策に取り組んでいるところです。

市民の皆様には、学校の休業を始め、イベントの中止や延期、市有施設の使用抑制など、多大なご不便をおかけし、心苦しく思っていますが、国民の行動変容が求められる状況に至っており、市民の皆様にはいましばらく3条件の重なりを徹底的に回避する行動を心掛けていただきますようお願いいたします。

ただ、その一方で、経済、観光等への影響も拡大し、事業活動の継続、また市民の生活困窮など具体的な影響が出てきていることは深刻な問題です。とりわけ、学校の休業の長期化が、生徒児童たち心身に暗い影を落とすことが強く懸念されます。加えて、社会活動や消費行動の自粛によって、地域経済を担っている事業者の皆さんが極めて深刻な状況に陥りつつあることを強く懸念しております。

感染症拡大の行方を決して楽観することはできませんが、市民の生活を維持しながら社会経済的な影響を少しでも抑えるためには、私たちはそれぞれの持ち場において最大限の注意を払い、工夫しながら、日常生活や社会活動を続けていこうとする知恵とそのための連帯が求められていると思います。

とにかく今は、感染を広げないこと。そのために今は社会活動を絞ってでも、できるだけ早期の終息に向け、地域が一丸となって行動していきましょう。この間の苦境を何とかしのぐために、私ども行政は力を尽くします。地域の営みや機能を止めないよう、市民の皆さんの協力を心よりお願いいたします。

これから先、万一、少しでも体調に異変を感じたら、県などの相談窓口で電話連絡をしてください。経営や生活に困難を生じる場合は、ぜひ私どもに相談をしてください。不特定の多数が密集するような状況を避けながら、生き生きとした暮らしを取り戻していく努力をしましょう。安心安全で、文化的で、生き生きとした暮らしを取り戻すまで、事態を冷静に受け止めて的確に対処して、ともに困難を乗り越えてまいりましょう。